

日々の「暮らしの質」の向上が 暮らしやすい社会をつくる

誰もが暮らしやすく、活躍できる社会を目指す上で、日々の「暮らしの質」の向上は欠かせません。政府は「暮らしの質」向上検討会を開催し、快適な暮らしへの転換の象徴としてトイレに着目して「ジャパン・トイレ・チャレンジ」を開始しました。また、チャレンジの一環として、快適なトイレ空間や国際貢献、災害対応の場などでのトイレ事例を広く収集する「日本トイレ大賞」も開催しました。毎日、何度も足を運び、一生のうち8～11か月間という長い時間を過ごすトイレ空間。その質が、私たちの人生そのもののクオリティに大きく関わるといっても過言ではありません。地方自治体、企業、学校、団体などでは、既にトイレに関する工夫を凝らした取組も多数、行われています。そうした様々な好事例を、多くの人に活用していただくため取りまとめたのが本冊子です。この事例集をきっかけに、トイレに関する活動への関心が更に高まることを願っています。

「暮らしの質」向上検討会ホームページはこちら

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kurashinoshitsu/#teigen>

この事例集は、パンフレット〈みんなでつくろう。みんなの“暮らしやすい!”を。〉から、

「暮らしやすい空間づくり」の象徴として取りあげた、「トイレ」を特集したものです。

